



# 豪州準備銀行は年末以降の景気回復見通しを維持

- 豪州準備銀行(RBA)は10月5日、政策金利の据え置きと週40億豪ドル・ペースでの国債買い入れ継続を決定。
- RBAはワクチン接種拡大を契機にした景気回復予想を維持。22年後半にはデルタ株以前の景気軌道に戻ると予想。
- 豪州のワクチン接種率は9月以降も順調に上昇。2回接種比率は行動制限緩和の目安の70~80%の水準が視野に。
- ワクチン接種で先行するNSW州では10月より行動制限を緩和へ。NSW州の成功モデルが他の州へ広がるかに注目。

## RBAは4Q以降の豪州景気回復予想を維持

豪州準備銀行(RBA)は10月5日の理事会において、政策金利の据え置きと週40億豪ドルのペースでの国債買い入れの継続を決定しました(図1)。

RBA理事会の声明文での景気判断では、デルタ株拡大によって豪州景気は7-9月期に一時的な落ち込みが見込まれるものの、ワクチン接種率の上昇とそれに伴う行動制限緩和によって豪州景気回復予想を維持しています。

RBAのメイン・シナリオでは「豪州景気は10-12月期にプラス成長となり、2022年後半にはデルタ株拡大以前の軌道に戻る」との予想が示されており、これは直近(2021年9月)時点の市場予想とも整合的です(図2)。

## ワクチン接種率の上昇で行動制限緩和が視野に

豪州では9月以降もワクチン接種率の順調な上昇が進み、16歳以上人口に対する1回以上の接種率は10月5日時点で79.9%に到達しました(図3)。2回接種の比率も同時点で57.4%へ上昇し、豪州政府が行動制限緩和の目安とする70~80%の水準が視野に入りつつあります。

ワクチン接種で先行するニューサウスウェールズ(NSW)州(州都=シドニー)では、10月11日より行動制限の段階的な緩和を開始し、早ければ10月25日にもNSW州内の移動自由化を含む一段の制限緩和がなされる見込みです(対象は主にワクチン接種完了者)。さらに、NSW州では、12月1日より接種未完了者も含めた大幅な行動制限の緩和に踏み切る方針を示しています。

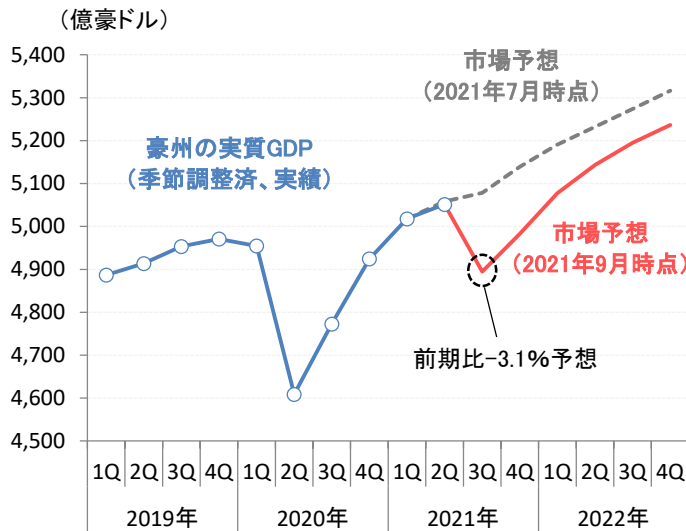
NSW州の新規感染者数はワクチン接種の効果もあり、9月上旬をピークに減少傾向にあります(図4)。足元では、ビクトリア州で新規感染者数が増加傾向にあるものの、今後は感染抑制と経済活動再開の面でのNSW州の成功モデルが他の州にも広がるかに注目が集まりそうです。

## 図1:豪州準備銀行(RBA)の声明文の要旨

- **【政策金利据え置き】** 政策金利(キャッシュ・レート)を0.10%で据え置く。また、2024年4月満期の豪州国債の利回り誘導目標を0.10%で据え置く。
- **【国債買い入れ継続】** 週40億豪ドルの国債買い入れを少なくとも2022年2月中旬まで継続する。
- デルタ株拡大によって豪州景気回復は中断され、7-9月期のGDPは大幅な落ち込みが見込まれる。
- こうした景気拡大の後退は一時的に過ぎないと見込まれる。ワクチン接種率の一段の上昇と行動制限緩和により、景気は立ち直ると予想される。
- RBAのメイン・シナリオでは、豪州景気は10-12月期にプラス成長となり、2022年後半にはデルタ株拡大以前の軌道に戻ると予想される。

(出所)豪州準備銀行 (注)2021年10月5日理事会の声明文。国債買い入れ策には州政府債も含まれる。

## 図2:豪州の実質GDPの市場予想

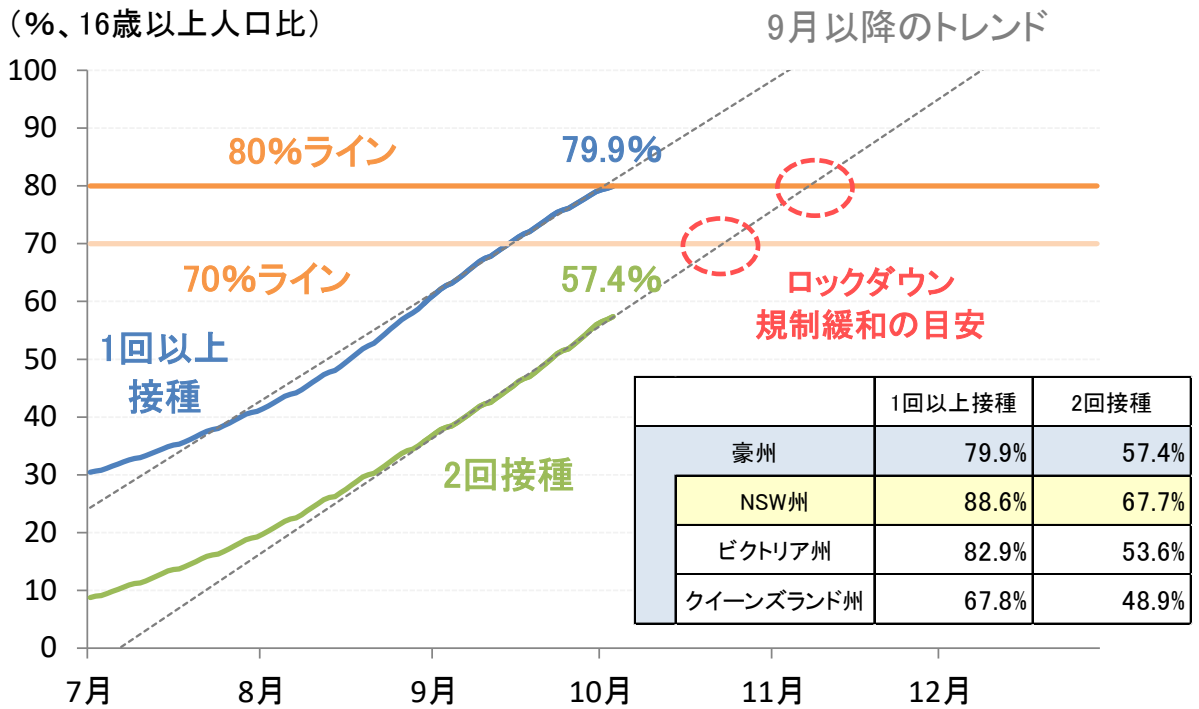


(出所)豪州政府統計局、ブルームバーグ (期間)2019年1Q~2022年4Q

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したもので、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

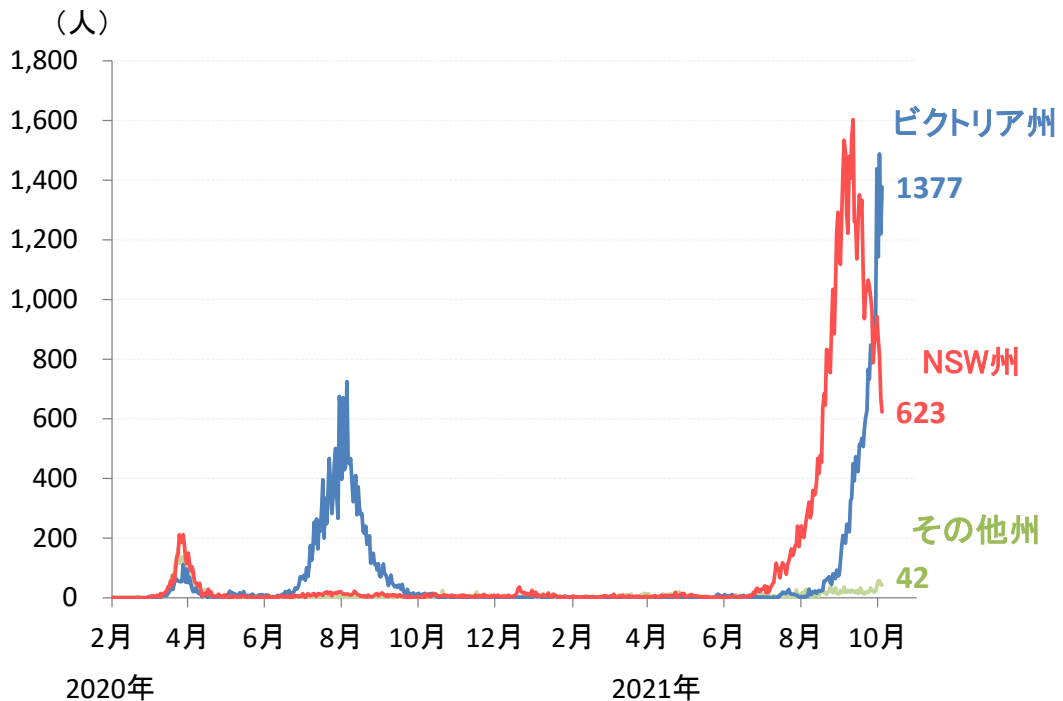


### 図3: 豪州のワクチン接種率の推移



(出所) 豪公共放送ABC、豪州政府 (期間) 2021年7月3日～10月5日

### 図4: 豪州の新型コロナウイルスの新規感染者数の推移(州別)



(出所) 豪公共放送ABC (期間) 2020年2月1日～2021年10月4日

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したもので、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。